別紙2

事業所名 葵グループホーム山見

作成日： 2025年 2月 12日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	看取り教育を実施している。 看取り時の家族説明が特定者のみとなっている。	全社員が、看取り体制について理解し「自分らしい最期を迎える」を支えることが出来る。	⑤看取り研修を、年2回以上実施する。 ⑥看取り者が出た場合は、体験をしてもらうためにも経験者、未経験者セットにしフォローしながら学習する。	12ヶ月
2	10	苦情受付担当、解決責任者が一緒の為下記のように推奨されている。 【外部評価より】苦情受付担当者の任命と第三者委員の選任について今後も検討を継続し、実現されることを期待したい。	社員育成をし、苦情受付担当、解決責任者をセパレートする。	③苦情が起きた際は、副主任、主任と一緒に解決プロセスを動き覚える。 ④苦情対応研修会を副主任、主任へ年2回実施する。	12ヶ月
3	33	運営推進会議の参加者は確保している。 現在参加者が、お客様、お客様家族、包括職員、区長、民生員であるものの特に外部の参加率が低い。	運営推進会議の参加率を上げ、地域への情報開示をし質問や意見を受けるなど，できる限り双方向的な会議とする。	①年間スケジュールに無理がないかヒアリングをする。 ②文章でのご案内をしているが、加えて運営推進会議一週間前電話での案内も加える。	12ヶ月
4		体操等のレクが、テレビに頼ることが多く。お客様より、社員と一緒に体を動かしたいと要望が出ている。 【実情】 体操レクを朝、昼、おやつ、夕と実施している。 おやつ時間のレクは、社員と一緒に実施している。	定時の運動時間を作り、お客様と社員が共に寄添う時間を増やす。	①社員教育の実施 ②お客様に、体操時間を周知し定期化していく。	3ヶ月
5		雪が降るまでは、外出は定期化している。 冬季の外出（買い物、散歩）が難しく代替え方法を検討している。	お客様に選ぶ楽しさ、施設社員以外との交流をもちQOL向上を目指す。	①移動販売（かわちや）に依頼する。 ②その他代替えを検討する。	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。